

第25回(2012年度)  
名古屋大学年代測定総合研究センター  
シンポジウムプログラム

\* 変更になる場合があります。

日時:2013年1月16日(水)9:30~17:30(受付開始時間:9:00)  
:2013年1月17日(木)9:30~17:00(受付開始時間:9:00)

場所:名古屋大学 野依記念学術交流館1階

【2013年1月16日(水)】

09:30~ 開会の挨拶

【センター施設報告】

(座長:南 雅代)

09:30~09:45 名古屋大学タンデトロン AMS<sup>14</sup>C システムの現状と利用(2012)  
中村俊夫・タンデトロン年代グループ(名大・年測センター)

09:45~10:00 CHIME の現状と利用(2012)  
加藤丈典・榎並正樹・佐藤 桂(名大・年測センター)

【平成24年度 新研究創成経費研究報告】

(座長:中村俊夫)

10:00~10:15 縄文時代の急激な環境変動期における生態系復原と人間の適応  
一木絵理(名大・年測センター)

10:15~10:30 瀬戸内の山陽帯花崗岩類および関連する鉱床の記載岩石学・地質年代学的研究  
佐藤 桂(名大・年測センター)

10:30~10:45 高精度暦年較正に向けた北日本産樹木の放射性炭素年代測定  
箱崎真隆(名大・年測センター)

10:45~11:00 休憩

【一般講演 セッション1】

(座長:加藤丈典)

11:00~11:15 モンゴル・フブスグル湖湖沼堆積物の Post-IR IRSL 年代測定  
伊藤一充(名大・年測センター)・Geoff Duller (Aberystwyth University)・長谷部徳子・荒井章司(金沢大)・中村俊夫(名大・年測センター)・柏谷健二(金沢大)

11:15~11:30 青銅器の <sup>14</sup>C 年代測定 -その可能性と研究計画-  
小田寛貴・加藤丈典(名大・年測センター)・山田哲也・塚本敏夫(元興寺文化財研)

11:30~11:45 実構造物中のコンクリートの中性化進行評価-<sup>14</sup>C, δ<sup>13</sup>C・δ<sup>18</sup>O, EPMA 分析から何が言えるか-  
南 雅代(名大・年測センター)・浅原良浩・丸山一平(名大・院環境)・吉田英一(名大・博物館)

11:45~13:00 ポスターセッション(コアタイム 12:30~13:00)及び昼食

### 【特別講演1】

(座長:中村俊夫)

13:00~14:00

炭素14年代キャリブレーションと水月湖年縞堆積物  
北川浩之(名大・院環境)

### 【特別講演2】

(座長:中村俊夫)

14:00~15:00

炭素14と宇宙線変動ー奈良時代の異変  
増田公明(名大・太陽地球研)

15:00~15:15

(休憩)

### 【一般講演 セッション2】

(座長:佐藤 桂・加藤丈典)

15:15~15:30

変成岩岩石学と年代測定  
榎並正樹(名大・年測センター)

15:30~15:45

サブミクロン CHIME 年代測定法の開発に向けて  
加藤丈典・渡邊正和(名大・年測センター)

15:45~16:00

原生代末期に形成した Gondwana 超大陸とそれ以前の地殻変動  
~インド南部の岩石のジルコンのサブグレイン年代の研究~  
佐藤 桂(名大・年測センター)

16:00~16:15

(休憩)

### 【一般講演 セッション3】

(座長:宮田佳樹)

16:15~16:30

パラオ海溝の深海 6500m に存在する石灰岩体の溶解  
坪井辰哉(静大・院理)・和田秀樹(静大・理)・中村俊夫(名大・年測センター)・松崎浩之(東大・院工)・大辻奈穂(新潟大・院自然科学)・藤岡換太郎・小栗一将・北里 洋(JAMSTEC)

16:30~16:50

名古屋の大気中浮遊塵に含まれる福島第一原子力発電所由来の放射性核種の観測結果  
小田寛貴・池田晃子(名大・年測センター)・張 子見・高橋成人・二宮和彦・篠原厚(阪大・院理)・齊藤 敬(阪大・安全管理)

16:50~17:10

(招待講演)

福島県の放射性汚染土壌ーとくに黒い物質ーの野外の産状について  
千葉茂樹(福島県立小野高校)・諏訪兼位(名大・名誉教授)・鈴木和博(名大・年測センター)

17:10~17:30

福島県の放射性汚染土壌ーとくに黒い物質ーの物質科学的研究  
鈴木和博(名大・年測センター)・千葉茂樹(福島県立小野高校)・諏訪兼位(名大・名誉教授)

18:00~20:00

(懇親会 本学レストラン花の木)

【2013年1月17日(木)】

【特別セッション元寇ー沈没船の謎を探るー】

(座長:榎並正樹)

- 09:30~10:30 長崎県松浦市鷹島海底遺跡の発掘調査と出土遺物  
中田敦之(長崎県松浦市教育委員会)
- 10:30~10:45 長崎県鷹島海底遺跡出土木石碇の<sup>14</sup>C年代測定  
ー歴史時代資料の<sup>14</sup>C年代測定における old wood effect についてー  
小田寛貴・池田晃子(名大・年測センター)
- 10:45~11:00 長崎県松浦町鷹島の海底元寇遺物に伴う岩石の来歴解明に向けた試み  
加藤丈典・榎並正樹(名大・年測センター)
- 11:00~11:15 沈没船周辺から得られた貝類及び船底付着貝類から見た当時の古環境と船の来歴  
林 誠司・氏原 温(名大・院環境)
- 11:15~11:30 沈没船底に付着していた貝殻およびその他の出土遺物の<sup>14</sup>C年代測定  
中村俊夫(名大・年測センター)
- 11:30~11:45 討論
- 11:45~13:00 ポスターセッション及び昼食

【特別講演3】

(座長:中村俊夫)

- 13:00~14:00 東アジアにおける水田稲作技術の成立と発達に関する研究  
ーその現状と課題(日本と中国のフィールド調査から)ー  
宇田津徹朗(宮崎大・農)
- 14:00~14:15 プラントオパール放射性炭素年代測定  
中村俊夫(名大・年測センター)・宇田津徹朗(宮崎大・農)
- 14:15~14:30 (休憩)

【一般講演 セッション4】

(座長:南 雅代)

- 14:30~14:45 三重県青山高原の領家変成岩と珪長質岩脈の CHIME 年代  
三宅 明・諏訪部彰人・河方美貴・榊原絵美(愛教大・地学)・鈴木和博(名大・年測センター)
- 14:45~15:00 屋久杉年輪中<sup>14</sup>C濃度測定による7-8世紀の太陽活動周期長の研究  
三宅美沙・増田公明(名大・太陽地球研)・中村俊夫(名大・年測センター)
- 15:00~15:15 海水中溶存無機炭素の真空抽出法  
坪井辰哉(静大・院理)・和田秀樹(静大・理)・土屋理恵(名大・院環境)
- 15:15~15:30 クック諸島ラロトンガ島カレカレ湿地の花粉分析  
藤木利之・奥野 充(福大・国際火山噴火史情報研究所)・河合 溪(鹿大・国際島嶼教育研究センター)・森脇 広(鹿大・法文)
- 15:30~15:45 (休憩)

- 15:45~16:00 岐阜福井県境, 冠山北西の二重山稜間の凹地を埋積した堆積物の AMS- $^{14}\text{C}$  年代とテフラ年代  
丹羽良太・小嶋 智・岩本直也(岐阜大・工)・金田平太郎(千葉大・理)
- 16:00~16:15 リター分解における  $\text{CO}_2$  放出率及び炭素同位体比の経時変化  
伊藤健二・森泉 純・山澤弘実(名大・院工)
- 16:15~16:30 ケイ酸塩も  $^{14}\text{C}$  年代測定の対象となるか?  
—岩石の粉碎反応による  $\text{CO}_2$  の迅速吸収—  
田中 剛(名大・年測センター)・三村耕一(名大・院環境)
- 16:30~16:45 三重県粥見井尻, 筋遺, 内垣外遺跡から得られた  $^{14}\text{C}$  年代値とその意義  
森 勇一(金城学院大)・中村俊夫(名大・年測センター)・本堂弘之(三重県史編さんグループ)・川崎志乃(奈良県立橿原考古学研究所)
- 16:45~16:55 全体質問
- 16:55~17:00 閉会の挨拶

ポスター発表(野依記念館一階:コアタイム 12:30~13:00)

駿河湾および遠州灘の海底堆積物中有孔虫殻の酸素同位体比変動  
坪井辰哉(静大・院理学)・和田秀樹(静大・理学)・中村俊夫(名大・年測センター)・加藤義久(東海大学)・土屋正史・北里 洋(JAMSTEC)

ミカンの化学組成—好みの味は金属元素含有量で決まるのか?  
鈴木和博・田中敦子・伊原由紀子(名大・年測センター)

河川堆積物を用いた北海道の  $^{87}\text{Sr}/^{86}\text{Sr}$  同位体比分布  
城森由佳(名大・院環境)・南 雅代(名大・年測センター)・太田充恒・今井 登(産総研)

竜ヶ岩洞石筍の  $^{14}\text{C}$  年代測定  
加藤ともみ(名大・院環境)・南 雅代(名大・年測センター)・堀川恵司(富大・院理工)・中村俊夫(名大・年測センター)

福岡 PM2.5 中炭素成分の発生源推定  
早田 葵・池盛文数(名大・院環境)・肥後隼人(福岡市保健環境)・中島大介(国環研)・南 雅代・中村俊夫(名大・年測センター)

福岡、名古屋、諏訪の TSP 中放射性同位炭素( $^{14}\text{C}$ )および成分組成  
池盛文数(名大・院環境)・肥後隼人(福岡市保健環境)・宮原裕一(信大・山岳科学)・中島大介(国環研)・中村俊夫(名大・年測センター)

イラン・アルセンジャン洞窟遺構から採取された炭化物の年代測定  
畠山慎二・南 雅代・中村俊夫(名大・年測センター)・常木 晃(筑大・院人文社会)

鉄製品の放射性炭素年代測定と試料調製  
中村俊夫・太田友子(名大・年測センター)・山田哲也(元興寺文化財研)